

検査IV 福祉

(解答上の注意) 解答は、全て解答用紙に記入すること。

1 学習指導要領に関する次の各問に答えなさい。

(1) 次の記述は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第8節 福祉 第1款 目標」に関するものである。空欄①～④に当てはまる語句として適切なものを答えなさい。

福祉の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、福祉を通じ、人間の（ ① ）に基づく（ ② ）の推進と持続可能な福祉社会の発展を担う職業人として必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 福祉の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- (2) 福祉に関する課題を発見し、職業人に求められる（ ③ ）を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- (3) 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、（ ④ ）の創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

(2) 次の記述は、「高等学校学習指導要領（平成30年告示）第2款 各科目」における「第3 コミュニケーション技術 2内容」に関するものである。空欄①に当てはまる語句として適切なものを、以下の1～4より選び答えなさい。

[指導項目]

- (1) 福祉実践におけるコミュニケーション
 - ア コミュニケーションの意義と役割
 - イ コミュニケーションの基本技術
- (2) サービス利用者や家族とのコミュニケーション
 - ア サービス利用者に応じたコミュニケーション
 - イ サービス利用者や家族との関係づくり
- (3) 福祉実践におけるチームのコミュニケーション
 - ア （ ① ）
 - イ チームによる連携

- 1 情報収集とアセスメント
- 2 チームアプローチの意義
- 3 記録による情報の共有化
- 4 多職種協働及びチームケアの理解

検 査 Ⅳ 福 社

2 障害者福祉について、次の各問に答えなさい。

(1) 次の文章は、発達障害者支援法第二条の条文の一部である。文中の①～④に当てはまる語句を答えなさい。

第二条 この法律において「発達障害」とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の
 (①)、学習障害、(②) その他これに類する脳機能の障害であってその症状が通常
 常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう。

2 この法律において「発達障害者」とは、発達障害がある者であって発達障害及び
 (③) により日常生活又は社会生活に制限を受けるものをいい、「発達障害児」とは、
 発達障害者のうち十八歳未満のものをいう。

3 この法律において「(③)」とは、発達障害がある者にとって日常生活又は社会生活
 を営む上で障壁となるような社会における事物、制度、慣行、観念その他一切のものを
 いう。

4 この法律において「発達支援」とは、発達障害者に対し、その心理機能の適正な発達
 を支援し、及び円滑な社会生活を促進するため行う個々の発達障害者の特性に対応した
 医療的、福祉的及び(④) 援助をいう。

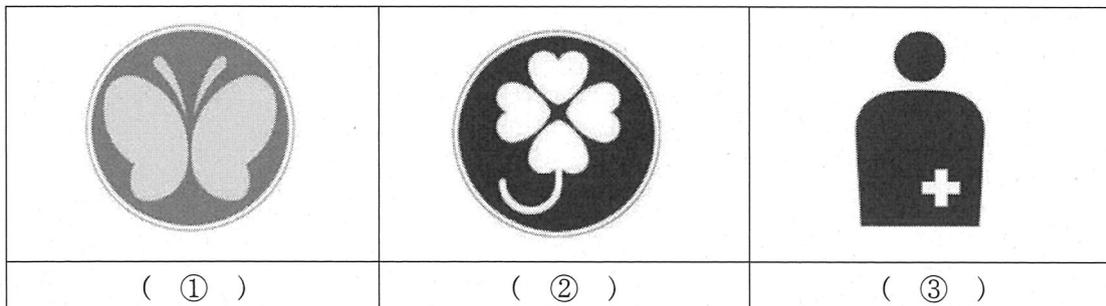
(2) 「ディスレクシア」について、「知的な発達」「困難」の語句を用いて説明しなさい。

(3) 健康状態に変調または病気、障害があることが、さまざまな生活機能に影響を与え、その
 結果生じた障害を何とよいか答えなさい。

(4) 発達障害がある子どもの保護者や子育てに不安がある保護者に対して実施され、子どもや
 自分自身について「行動」で把握することで、保護者の認知的な枠組みを修正していくこ
 とを目的にした簡易的なプログラムのことを何とよいか答えなさい。

3 次の文章は、まちで見かけるマークや法律に関する文章である。文章を読み、(1)～(3)
 について答えなさい。

まちで見かけるマーク



2002年10月から ア 身体障害者補助犬法が施行された。この法律では補助犬の種類
 が認定されている。2013年には イ 障害者差別解消法が成立、2016年に施行された。

検査Ⅳ 福 祉

- (1) まちで見かけるマーク①～③の名称を答えなさい。
- (2) 下線部アの法律で認定されている補助犬の種類を3つ答えなさい。
- (3) 下線部イの法律では、国や地方の行政機関や、民間事業者に対して禁じている行為がある。その行為を2つ答えなさい。

4 災害に関する(1)～(6)の各問に答えなさい。

- (1) 災害には、洪水、大雪、地震などの(①)災害と、都市公害、産業災害、交通災害などの(②)災害がある。空欄①、②に当てはまる語句を答えなさい。
- (2) 被災地での支援では、気負いや焦り、無力感からストレスが重なり、()を起こすこともある。被災地での支援であるからこそ、支援者自身の体調管理を行うことを忘れないようにする。空欄に当てはまる語句を答えなさい。
- (3) 災害発生直後の福祉避難所での食事支援では、排泄を気にして水分摂取を控えてしまう利用者がいるため、1日に1.5L前後の水分補給を確保できるように配慮するべきだが、人間は本来1日にどのくらいの水分が必要といわれているか答えなさい。
- (4) 人間は、水分を20%失うと死亡の恐れがある。脱水症状や熱中症などの症状が現れるのは、水分を何%失ったときか答えなさい。
- (5) 災害発生直後の初動期から応急期まで、被災した利用者を支援する介護従事者自身も被災者であることが多い。介護従事者は、常に地域の ア 自然災害による被害の軽減や防災対策に使用する目的で、被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図を確認して行動すると共に、事故や過労にも注意する。介護従事者は、ボランティア保険への加入はもちろんであるが、健康管理としての イ 日常生活においてストレスを感じた時に、そのストレスとうまく向きあうための技術や能力を活用したり、感染予防を実践して活動することが求められる。
 - ①下線部アのことを、何とというか答えなさい。
 - ②下線部イのことを、何とというか答えなさい。
- (6) 介護従事者は、医師や看護師などから構成される災害派遣医療チーム(①)、福祉の専門職から構成される災害派遣福祉チーム(②)と連携し、指示を仰ぐ必要がある。空欄①、②に当てはまる語句を答えなさい。

検査Ⅳ 福 祉

5 日本介護福祉士会倫理綱領及び高齢者虐待、身体拘束に関する次の各問に答えなさい。

＜日本介護福祉士会倫理綱領 1995年11月17日宣言＞

前文

私たち介護福祉士は、介護福祉ニーズを有するすべての人々が、(①) 地域において安心して老いることができ、そして暮らし続けていくことのできる (②) を願っています。

そのため、私たち日本介護福祉士会は、一人ひとりの心豊かな暮らしを支える介護福祉の専門職として、ここに倫理綱領を定め、自らの専門的知識・技術及び (③) 的自覚をもって最善の介護福祉サービスの提供に努めます。

日本介護福祉士会倫理綱領の7項目

- 1 (④)、自立支援
- 2 専門的サービスの提供
- 3 (⑤) の保護
- 4 総合的サービスの提供と積極的な連携、協力
- 5 利用者ニーズの代弁
- 6 地域福祉の推進
- 7 後継者の育成

(1) 空欄①～⑤に当てはまる語句を答えなさい。

(2) 介護において原則として身体拘束は認められないが、3つの条件を満たせば例外的に認められる。3つの条件を説明しなさい。

(3) 高齢者虐待の種類を5つ答えなさい。

6 以下の文章を読み、次の各問に答えなさい。

○共生社会の実現を推進するための (①) 法

(目的)

第一条 この法律は、我が国における急速な (②) の進展に伴い認知症である者(以下「認知症の人」という。)が増加している現状等に鑑み、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症に関する施策(以下「認知症施策」という。)に関し、基本理念を定め、国、地方公共団体等の責務を明らかにし、及び認知症施策の推進に関する計画の策定について定めるとともに、認知症施策の基本となる事項を定めること等により、認知症施策を総合的かつ計画的に推進し、もって認知症の人を含めた国民一人一人がその個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ支

検査Ⅳ 福 祉

え合いながら共生する活力ある社会（以下「共生社会」という。）の実現を推進することを目的とする。

（定義）

第二条 この法律において「認知症」とは、ア アルツハイマー病その他の神経変性疾患、イ 脳血管疾患その他の疾患により日常生活に支障が生じる程度にまで認知機能が低下した状態として政令で定める状態をいう。

「（③）」とは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っているこどものこと。責任や負担の重さにより、学業や友人関係などに影響が出てしまうことがある。

こども家庭庁HPより

社会的養護とは、保護者のない児童や、保護者に監護させることが適当でない児童を、公的責任で社会的に養育し、保護するとともに、養育に大きな困難を抱える家庭への支援を行うことである。

社会的養護は、「こどもの（④）のために」と「社会全体でこどもを育む」を理念として行われている。

こども家庭庁HPより

（⑤）に関する法律

第一章 総則

（目的）

第一条 この法律は、子どもの現在及び将来がその生まれ育った環境によって左右されることのないよう、全ての子どもが心身ともに健やかに育成され、及びその教育の機会均等が保障され、子ども一人一人が夢や希望を持つことができるようにするため、子どもの貧困の解消に向けて、児童の権利に関する条約の精神にのっとり、子どもの貧困対策に関し、基本理念を定め、国等の責務を明らかにし、及び子どもの貧困対策の基本となる事項を定めることにより、子どもの貧困対策を総合的に推進することを目的とする。

- （1）空欄①～⑤に当てはまる語句を答えなさい。
- （2）下線部アのアルツハイマー型認知症の原因と考えられている異常タンパク質の名称を2つ答えなさい。
- （3）下線部イに係り認知症を引き起こすひとつとなる脳梗塞について種類を2つ答えなさい。

7 感染に関する次の文章を読み、以下の各問に答えなさい。

検査Ⅳ 福祉

(1) 感染とは、人のからだのなかに病原体が入り増えている状態、()とは、病原体によって ア 発熱や下痢などの感染症状が現れている状態をいう。感染してすぐに症状が出るわけではない。

①空欄に当てはまる語句を漢字で答えなさい。

②下線部アは、感染症法で体温が 37.5℃以上を発熱と定めている。高熱は何度以上と定めているか、小数点第一位まで答えなさい。

(2) アメリカの疾病予防管理センター(CDC)により、1996年に出された感染予防の基本で、汗を除くすべての血液、体液、分泌物、損傷のある皮膚、粘膜は感染性病原体を含む可能性があるという原則にもとづき、手指衛生や个人防护具(マスクやガウンなど)の着用など感染リスクを減少させる予防策のことを何というか答えなさい。

(3) 次に示した症状の感染経路をそれぞれ漢字で答えなさい。

①インフルエンザ ②ノロウイルス ③結核

(4) 介護現場における感染対策として、サービス利用者への感染経路を遮断するためには3つの配慮が必要とされている。3つ全て答えなさい。

8 福祉用具と介護ロボットについて、次の各問に答えなさい。

(1) 介護保険制度で定める福祉用具貸与の品目として、正しいものを全て選び記号で答えなさい。

①簡易浴槽 ②腰掛便座 ③起立保持具 ④自動排泄処理装置

⑤特殊寝台付属品 ⑥認知症老人徘徊感知機器

(2) 「ロボット技術の介護利用における重点分野」(2017年改訂(厚生労働省・経済産業省))に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選び記号で答えなさい。

①移乗介助分野には、ロボット技術を用いて介助者による抱え上げ動作のパワーアシストを行う非装着型の機器が含まれる。

②移動支援分野には、ロボット技術を用いて排泄を予測し、的確なタイミングでトイレへ誘導する機器が含まれる。

③見守り・コミュニケーション分野には、ロボット技術を用いて、見守り、移動支援、排泄支援をはじめとする介護業務に伴う情報を収集・蓄積し、それを基に、高齢者等の必要な支援に活用することを可能とする機器が含まれる。

④排泄支援分野を担うロボットは、排泄物の処理を行うものに限られる。

(3) 福祉用具のひとつである「スライディングボード」を使用することの利点について、「ノーリフティングケア」の観点から簡潔に説明しなさい。

(4) これまでインターネットに接続できなかった物が、インターネットに接続できるようになることで、「モノ」を介して情報をやりとりすることが可能となるしくみを総称して何というか答えなさい。

記号	福	番号	
----	----------	----	--

検査Ⅳ 福祉解答例

1 1点×5 (5点)

(1)	① 尊厳	② 地域福祉
	③ 倫理観	④ 福祉社会
(2)	① 3	

2 (1) 1点×4 (2) 2点×1 (3) 1点×1 (4) 1点×1 (8点)

(1)	① 広汎性発達障害	② 注意欠陥多動性障害
	③ 社会的障壁	④ 教育的
(2)	ディスレクシアは学習障害のひとつで、知的な発達に問題はないものの、文字を読むことに困難がみられる症状のこと。	
(3)	二次障害	
(4)	ペアレント・プログラム	

3 1点×8 (8点)

(2)(3) 順不同

(1)	① 聴覚障害者標識 (聴覚障害者マーク)	② 身体障害者標識 (身体障害者マーク)
	③ オストメイト用設備 (オストメイトマーク)	
(2)	盲導犬	介助犬
	聴導犬	
(3)	不当な差別的取扱い	合理的配慮の不提供

記号	福	番号	
----	----------	----	--

検査Ⅳ 福祉解答例

4 1点×9 (9点)

(1)	① 自然	② 人為
(2)	燃え尽き症候群 (バーンアウト)	
(3)	2.5 L	
(4)	5 %	
(5)	① ハザードマップ (防災マップ)	② ストレスコーピング
(6)	① D M A T	② D W A T (D C A T)

5 (1) 1点×5 (2) 2点×3 (3) 1点×5 (16点) (3) 順不同

(1)	① 住み慣れた	② 社会の実現
	③ 倫理	④ 利用者本位
	⑤ プライバシー	
(2)	切迫性 ① 本人や他の利用者らの生命や身体に危険が及ぶ可能性が著しく高い場合	
	非代替性 ② 他に方法が見つからない場合	
	一時性 ③ 拘束を行うのが一時的である場合	
(3)	① 身体的虐待	② 介護・世話の放棄・放任 (ネグレクト)
	③ 心理的虐待	④ 性的虐待
	⑤ 経済的虐待	

記号	福	番号	
----	----------	----	--

検査Ⅳ 福祉解答例

6 (1) 2点×5 (2) 1点×2 (3) 2点×2 (16点) (2) (3) 順不同

(1)	① 認知症基本	② 高齢化
	③ ヤングケアラー	④ 最善の利益
	⑤ 子どもの貧困対策の推進	
(2)	アミロイドβ	リン酸化タウ (タウタンパク質)
(3)	脳血栓	脳塞栓

7 (1) 1点×2 (2) 1点×1 (3) 1点×3 (4) 2点×3 (12点) (4) 順不同

(1)	① 感染症	② 38.0
(2)	標準予防策 (スタンダード・プリコーション)	
(3)	① 飛沫感染	② 接触感染
	③ 空気感染	
(4)	病原体 (感染源) を持ち込まないこと	病原体 (感染源) を持ち出さないこと
	病原体 (感染源) を拡げないこと	

8 (1) 1点×1 (2) 1点×1 (3) 2点×1 (4) 2点×1 (6点)

(1)	④・⑤・⑥
(2)	①
(3)	抱え上げずに移動や移乗介護が可能となり、介護従事者の身体面での負担が軽減される。
(4)	I o T